

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称：	ビアンコート希釈用アルコール（ブタノール）
製品コード：	BC-300
会社名：	株式会社ビアンコジャパン
住所：	京都市南区吉祥院長田町 47 番地
担当部門：	営業企画担当
担当者：	鈴木 伸哉
電話番号：	075-693-5531（代表）
緊急時の電話番号：	075-693-5531（代表）
FAX番号：	075-693-5522
メールアドレス：	bianco@biancojp.co.jp
推奨用途及び使用上の制限：	ビアンコート希釈用液

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性：	引火性液体	区分 4
人健康有害性：	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分 2B

上記で記載がない危険有害性は、「分類対象外」か「分類できない」または「区分外」である。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：

注意喚起語：

警告

危険有害性情報：

可燃性液体(H227)

眼刺激(H320)

注意書き：

[安全対策]

熱 / 火花 / 裸火 / 高温のもののような着火源から遠ざけること。 - 禁煙。(P210)

取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)

適切な保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)

[応急措置]

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

眼の刺激が続く場合: 医師の診断 / 手当を受けること。(P337+P313)

火災の場合: 消火するために耐アルコール泡消火剤を使用すること。(P370+P378)

[保管(安全な保管条件)]

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。(P403+P235)

[廃棄]

内容物/容器を国や地域の規則に従って廃棄すること。(P501)

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：

化学物質

化学名又は一般名：

3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール

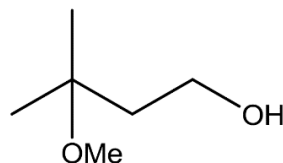
濃度：

≥99%

化学式：

C6H14O2

構造式：



CAS 番号：

56539-66-3

官報公示整理番号
 化審法番号 2-3079
 安衛法番号 公示番号のない既存化学物質

4. 応急措置

吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
 呼吸していて嘔吐がある場合は頭を横向きにする。
 気分が悪い時は医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合： 汚染された衣服は脱衣し、暴露した皮膚はマイルドソープと水で洗い、その後ぬるま湯ですすぐ。
 赤みや痛みがある場合は速やかに医師の診断/手当てを受ける。

眼に入った場合： 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。
 医師の診断/手当てを受ける。

飲み込んだ場合： 誤飲した場合、(被災者の意識がある場合のみ)多量の水で口をすすぎ、直ちに医者の手当てを受ける。
 意識不明または痙攣症状の人には決して口から物を与えない。
 体を毛布等でおおい、保温して安静を保つ。

応急措置をする者の保護： 応急処置の際、自己防護に留意する。

5. 火災時の措置

適した消火剤： 泡消火剤
 耐アルコール泡消火剤
 粉末消火剤
 二酸化炭素
 乾燥砂

特有の消火方法： 関係者以外は安全な場所に退去させる。
 危険でなければ危険区域から容器を移動する。
 周囲の設備等に散水して冷却する。
 消火作業は、風上から行う。
 消火用水は、排水口や水系に流出させない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置： 個人保護具を着用する。
 人を安全な場所に誘導する。
 十分に換気する。
 こぼれた場所はすべりやすいために注意する。
 第7項および第8項の保護対策を参照する。

環境に対する注意事項： 広範囲へ広がらないようにすること(例、堰やオイルフェンスを設置する)。
 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないようにする。

封じ込め及び浄化の方法・機材： 不燃性吸着剤、土砂等に吸収させて密閉容器に回収する。
 材吸収材(例：布、フリース)で拭き取り、密閉容器に収集して処分する。

二次災害の防止策： 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策： 密閉化されない作業の場合、局所排気装置を使用する。
 局所排気が不可能または不十分な場合、適切な機械を使用して作業場全体に十分な換気を行わなければならない。
 洗眼設備を設け、その場所を明瞭に表示する。
 静電気防止(火花を発生しない)作業具のみを使用する。
 防爆仕様の機械、装置、吸引設備、器具などを使用する。

安全取扱注意事項：	作業エリアでは十分な換気を行い蒸気の発生を予防する。 指定された個人用保護具を使用する。 容器を転倒、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
接触回避：	酸化剤 還元剤 強酸 アルカリ類
衛生対策：	飲食前、喫煙前、または作業終了後は、手および汚染エリアをマイルドソープと水で洗浄する。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 汚染された衣類を再使用する場合は洗濯する。

保管

安全な保管条件：	日光から遮断し、換気の良い場所で保管する。 関係者以外立ち入り禁止の場所に保管する。 施錠して保管する。 使用しない場合は、容器は密閉しておく。 貯蔵場所の十分な換気を、確かめること。 火の気のない場所で保管する。 涼しいところに置くこと。
混触危険物質：	第10章を参照。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策：	局所排気を備えた装置にする。 十分な洗浄設備を備える。
-------	--------------------------------

保護具

呼吸器用の保護具：	換気が十分でない場合には、適切な呼吸用保護具を着用する。 防毒マスク(有機ガス用)、送気マスク、空気呼吸器、酸素呼吸器。
手の保護具：	適切な保護手袋。 特殊な取扱いの場合は、手袋製造者に化学物質耐性について確認することが推奨される。
眼の保護具：	保護眼鏡、化学用ゴーグルまたはフェイスシールド。
皮膚及び身体の保護具：	保護衣服； 実験用白衣、実験用エプロン、化学物質用防護服、安全靴。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態：	液体
色：	無色透明
臭い：	かすかなエーテル臭
pH：	該当しない
融点：	<-50
沸点：	173
引火点：	68 (タグ密閉式)
蒸発速度(酢酸ブチル=1)：	データなし
爆発範囲(vol%)：	下限 1.2vol% 上限 13.1vol%
蒸気圧：	0.47hPa (20) ⁸⁾
相対蒸気密度(20)：	4.1(Air=1)
比重(密度)：	0.92g/cm ³ (20)
溶解度：	水：任意の割合で混合
n-オクタノール/水分配係数：	LogPow=0.18
自然発火温度：	395
分解温度：	データなし

粘度(粘性率): 12.5mPa.s(20)
 最小発火エネルギー: データなし
 体積抵抗率(導電率): データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性: 通常の取扱い条件においては安定。
 避けるべき条件: 過熱
 火花
 裸火
 直射日光
 混触危険物質: 強酸化剤
 強還元剤
 過酸化物
 危険有害な分解生成物: 一酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性(経口)
 LD50 経口ラット: 4400mg/kg(GLP 準拠) ¹⁾
 LD50 経口マウス: 5830mg/kg ²⁾
 急性毒性(経皮)
 LD50 経皮ラット: >2000mg/kg(GLP 準拠) ³⁾
 LD50 経皮マウス: >2000mg/kg ²⁾
 急性毒性(吸入:蒸気): データなし
 皮膚腐食性及び皮膚刺激性: ウサギ:一次皮膚刺激性(PII)指数=0.04 より区分外に分類できる。(GLP 準拠) ³⁾
 眼に対する重篤な損傷又は刺激性: ウサギ:やや刺激性あり。投与 30-60 秒後に蒸留水で洗浄すると刺激性は軽減する。(GLP 準拠) ³⁾
 皮膚感作性: モルモット:試験動物 10 匹すべてで陰性であった。(GLP 準拠) ³⁾
 呼吸器感作性: データなし
 生殖細胞変異原性: Ames 試験:陰性(GLP 準拠) ¹⁾
 フェンズ ルスタ培養細胞を用いた染色体異常試験:陰性(GLP 準拠) ⁷⁾
 発がん性: データなし
 生殖毒性: 妊娠ラットへの与発生毒性試験(経口投与):
 母体の体重減少と摂餌量の低下は認められたが、250, 500, 2000mg/kg/day いずれの投与群でも性機能・生殖能に対する悪影響、および仔の発生に対する悪影響は認められなかったことから区分外とした。(GLP 準拠) ⁹⁾
 特定標的臓器毒性(単回ばく露)
 特定標的臓器毒性(反復ばく露)
 28 日間反復経口投与毒性試験(ラット) ⁷⁾
 肝臓および腎臓に対する可逆的な影響が認められる。
 NOAEL=60mg/kg/day(雄)、250mg/kg/day(雌)
 28 日間反復経皮投与毒性試験(ウサギ)3)
 ソルフィット 100%: 皮膚刺激性指数=0.06
 ソルフィット 50%水溶液: 皮膚刺激指数=0.0
 28 日間反復吸入投与毒性試験(ラット,500ppm)2)
 内臓の病理学上、組織学上、機能上の検査で著しい影響は見られなかった。肝臓 GOT および腎臓の重量に若干の増加が認められたが、その後の検査では何も異常が認められなかった。
 吸引性呼吸器有害性: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

魚類急性毒性：	LC50>100mg/l(ヒメダカ、96h) ⁶⁾ TLm 値：7,400ppm(ヒメダカ、48h) ⁴⁾
ミジンコ急性遊泳阻害：	EC50>1000mg/l(48h) ⁶⁾
藻類生長阻害：	EC50>1000mg/l(セレナストラム、72h) ⁶⁾
繁殖阻害試験：	NOEC= 100mg/L(オオミジンコ、21days) ⁶⁾
残留性・分解性：	製品は生分解できる。
化学的酸素要求量(COD)：	8060mg/l(1%水溶液のCOD) ⁵⁾
生体蓄積性：	データなし
土壤中の移動性：	水に溶けて土壌を移動する可能性がある。
オゾン層への有害性：	成分は、モントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄場の注意

残余廃棄物：	焼却炉で少量ずつ焼却処理するか、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託処理する。 本品の低濃度廃水は、活性汚泥で処理することができる。
汚染容器及び包装：	適切に洗浄できない包装は、廃棄されなければならない。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号(ADR)：	該当なし
正式輸送品名(ADR)：	該当しない
国連分類(ADR)：	該当しない
容器等級：	該当しない
海洋汚染物質：	該当しない

国内規制

消防法第4類引火性液体、第二石油類水溶性液体(法第2条第7項危険物別表第1・第4類)

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策：

該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。
 容器の破損、漏れがないことを確かめる。
 荷崩れ防止を確実にを行う。
 輸送容器は衝撃を与えないよう丁寧に取扱う。
 転倒したり、激突させたりしない。
 横積み厳禁。
 高温厳禁。
 火気注意。
 消防法の危険物第1類及び酸化剤ならびに酸化性の強い物質との混載は避ける。
 タンクローリー等の荷役時には車止めをし、ホースの連結を確実にを行う。ホースの脱着時にはホース内の残留分の処理を完全に行う。

15. 適用法令

消防法：	消防法第4類引火性液体、第二石油類水溶性液体(法第2条第7項危険物別表第1・第4類) 危険物データベース登録：4042-176093(ソルフィットファイングレード)
海洋汚染防止法：	施行令別表第1 有害液体物質(Z類物質)

16. その他の情報

3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール

TSCA :	収載あり
EC 番号 :	260-252-4
IECSC :	収載あり
ECL :	収載あり
DSL :	収載あり
AICS :	収載あり
NZIOC :	収載あり
PICCS :	収載あり

引用文献、試験機関 :

- 1) Huntingdon Research Centre Ltd./UK
- 2) 中央労働災害防止協会
- 3) Inveresk Research International LTD./UK
- 4) 化学品検査協会 試験方法：環保業第5号、薬発第625号49 基局第392号
- 5) 日本油料検定協会総合分析センター/JISK-0102-17 に準ずる。
- 6) 化審法データベース J-CHECK
- 7) 化学物質毒性データベース（国立医薬品食品衛生研究所）
- 8) Notox/NL
- 9) ARGUS RESEARCH LABORATORIES, INC

参照データベース： CosIng, JCDB DATABASE, LOLI

- ・ この安全データシートは、当社の製品を適正にご使用いただくために注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の取扱いを対象としています。
- ・ 本製品はこの安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取扱ってください。
- ・ ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報や当社所有の知見によるものですが、これらのデータや評価はいかなる保証をするものではありません。また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。